

往還ノート

1 学期 2 号 (226 号) 平成 29 年 7 月


放送大学 広島学習センター
福山サテライトスペース

英国中世詩人チョーサー (G. Chaucer 1343?-1400) のやわらかさ・やさしさ

広島学習センター客員教授 中尾 佳行

チョーサーは、英国中世において活躍した詩人、『トロイラスとクリセイデ』や『カンタベリー物語』が代表的な作品。英詩の父とも称されています。チョーサーが活躍した時代は、イギリスとフランスとの 100 年戦争 (1339-1453) のさなか。若いときフランスとの戦争に従軍し捉えられ、捕虜にもなっています。彼は英仏戦争を始めた Edward III に、Edward III の長男 (Prince of Wales) の早逝で、彼の子供、10 歳で即位した Richard 2 世に、そして Richard II の血の繋がった従妹、しかし彼を失脚させ (殺害し) 王位についた Henry IV、3 人の英国王に仕えました。このような激動に耐え生き延びたチョーサーのやわらかさ (チョーサーの言葉で *tendre-hearted* = "tender-hearted"),あるいは融通性 (plasticity) に、とても魅力を感じて、彼の言語・文学を研究しております。



Richard II の治世においては、宮使いをしており、ロンドンの税関長、森林官、土木建築の監督官などを歴任。実際ロンドンの税関長の折には、ロンドン城壁の一つの門、Aldgate が仕事場であり住居でもありました。戦争のさなかのこと、壁の内にいるか外にいるかは、命にかかわる問題でもありました。更には、政治的な内紛もあり、チョーサーは体制派と反体制派のいずれに組するか、その緊張関係に置かれてもいました。

チョーサーは、教養があるにも拘らず聖職者ではなく、宮廷人でありながら騎士でもなく、また商人 (父が葡萄酒商) の出身でありながら商人でもなく、沢山の文学作品を残しながら作家というわけでもありませんでした。彼の立ち位置自体、曖昧性のある境界線、中間点に立つ new man でした。

チョーサーはともすれば無視してしまうような小さな存在、弱い存在にやさしい、やわらかい視線を注ぎ、そこに宿る生命の躍動に注目しています。春の「柔らかいつぼみ」、「つがう小鳥たち」に目が留められます。人間もまるでこのようにやわらかき ("tender") 存在であるかのように。"Pitee renneth soone in gentil herte." (Pity runs soon in gentle heart.)

目次

客員教員寄稿.....	1	視聴学習・図書室からのお知らせ.....	6
「所長室コーナー」から.....	2	行事のお知らせ.....	7
事務室からのお知らせ.....	3		

「往還ノート」について

広島学習センター所長

山田 隆

広島学習センター所長室のドアを出ると、窓越しに一本の桜の木が目に入る。4月1日の就任時にはチラホラ咲きだった花が10日には満開となり、雨の中にも濃く色づいている。

この間、新米所長もたくさんのことを経験した。学位記授与式では手渡す卒業生一人ひとりの晴れ晴れとした表情に感銘を受け、「入学生の集い」参加者アンケートに見る不安と戸惑いには大きなエールを送りたくなった。放送大学学園の理事長、学長、副学長とも面談し、地元の挨拶回りも一通り済んだ。このタイミングで早速、所長として「往還ノート」への記事執筆の要請が来た。サンプルとして見た平成29年1学期1号(225号)には教員の記事(退任、新任挨拶など)のみがあった。それではとバックナンバーを幾つか見てみたが、いずれも教員が交替で記事を寄せていた。「往還ノート」とは、往復ノートつまりは教職員と学生側との双方向の意見交換・交流を目的としているのではないのか？素朴な疑問がわいた。そもそも第1号は？と調べてみると、平成2年10月1日に広島ビデオ学習センターの授業開始と同時に、当時の稲賀敬二センター長のもとで発行されていた。「情報や意見を楽しく交換できる広場になれば嬉しいのですが」と趣旨が述べられている。ただし「往還」とは、センター教職員と学生の間のみをいっているのではない。学生がセンターに通うことも往復するから「往還」である(この意味で学生間の意見交換も含む)。また、ひとつのテーマをいろいろな角度から考える際の「行きつ戻りつ」することも「往還」となる(個人レベルの思考ノート)。徒然草の「心にうつりゆく、よしなしごと」も「そこはかたなく書きつ」けておくノートとなる。要するに、誰でも自由に意見を投稿できる場ということである。ただし、「学習上の情報などを皆さんにお知らせする時」にも使うとある。確かに、「往還ノート」毎号の後半部分はこの「お知らせ」が占めている。平成2年から27年間の年月の中でさまざまな出来事(紆余曲折)があり、このお知らせ部分(教職員発信部分)が一方向に肥大化したものと思われる。確かに、教員の立場からの多くの経験・知識を学生に伝えることは教育上の意義がある。しかし、必ずしも「情報や意見を楽しく交換できる広場」とはなっていない。

やはり、「往還ノート」の出発点にもどり、誰でも自由に意見を投稿できるようにしたい。この「往還ノート」のいきさつを知ったことも所長としての経験のひとつとなった。

あらためて、投稿案内は第1号に従って以下のようにしたいと思います。

* 皆さんからのご投稿を歓迎します。投稿規程は特にありませんが、紙面の関係で400字詰め原稿用紙で2枚以内と字数を制限します(図、表のスペースを入れて)。採否は所長が判断します。所長が添削する場合があります。



●○臨時閉所日について○●

7月28日(金)、8月1日(火)、8月12日(土)～13日(日)、8月15日(火)は臨時閉所とします。

●○単位認定試験について○●

《平成29年度第1学期単位認定試験日程、試験期間中の開所時間・閉所日》

7月									
21日(金)	22日(土)	23日(日)	24日(月)	25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)	30日(日)
大学院	大学院	教養学部	閉所日	教養学部	教養学部	教養学部	閉所日	教養学部	教養学部

【開所時間】 広島学習センター9:00～19:00(視聴学習・図書室9:00～18:45)
福山サテライトスペース9:00～18:45



《持参物》

●単位認定試験通知(受験票)…7月13日(木)

になっても到着しない場合は、大学本部(総合受付)☎043-276-5111へ連絡してください。

●学生証

●HBの鉛筆・消しゴム(シャープペンシルは不可)

●持ち込み許可物品

※筆記具や持ち込み許可物品は、事務室での貸出しは行いませんので、忘れないようにしてください。

《試験時間》

●50分間です。

●試験開始10分前までに入室してください。

●試験開始20分以降は入室できません。

《成績》

試験結果は(教養学部は面接授業の成績とともに)、8月下旬に「成績通知書」によって通知します。

《再試験》

今学期(平成29年度第1学期)、新規に科目登録した科目については、次学期(平成29年度第2学期)に引き続き学籍がある場合に限り、次学期に再試験を受験することができます(休学中の場合を除く)。

2016年度以降に新規開設したオンライン授業科目は、単位認定試験を行いませんので再試験はありません。(※小学校外国語教育教授基礎論(17)を除く)

《単位認定試験問題・解答等の公表》

今学期の試験問題は8月上旬、解答等は8月下旬に公表予定です。

試験問題及び解答等は、過去1年分を、キャンパスネットワークホームページ(インターネット)、広島学習センター(視聴学習・図書室)及び福山サテライトスペース(図書コーナー)で閲覧できます。

●○平成29年度 利用の手引き 記載内容の訂正について○●

平成29年度広島学習センター・福山サテライトスペースの利用の手引きにつきまして、下表のとおり記載内容に誤りがありますので訂正します。ご確認をよろしくお願いします。

学生の皆さまには、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

ページ	誤	正
24ページ	10月7日 土 (開所日)	10月7日 土 大学院筆記試験
24ページ	10月8日 日 大学院筆記試験	10月8日 日 (開所日)
24ページ	12月25日 月 (開所日)	12月25日 <u>月</u> 閉所日

●○次学期の履修手続きについて○●

①次学期も学籍のある方

次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

	申請期間	申請方法
郵送	8月15日(火)～ 8月30日(水) 本部必着	7月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入の上、大学本部へ郵送してください。
インターネット	8月15日(火) 9時～ 8月31日(木) 24時	システム WAKABA の「メニュー」から「科目登録申請」を行ってください。

- 教養学部の方は、面接授業の科目登録申請も可能です。
- システム WAKABA からの科目登録申請は、受付期間内は科目の追加や変更が可能です（全ての登録科目を取り消すことはできません）。

[illegible]

引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

継続入学生も学期当初から面接授業の登録申請を希望する方(教養学部のみ)は、所定の手続きを行うことにより、申請できます(次頁参照)。

	出願期限	出願方法
郵送	【第1回募集】 8月31日(木) 本部必着 【第2回募集】 9月20日(水) 本部必着	7月上旬に送付されます継続入学用募集要項内の出願票に必要な事項を記入の上、大学本部へ郵送してください。 一般の募集要項でも出願できます。
インターネット	【第1回募集】 8月31日(木) 24時 【第2回募集】 9月20日(水) 24時	システム WAKABA の「メニュー」から「継続入学申請」を行ってください。放送大学ホームページのインターネット出願からも出願できます。

- 選科・科目履修生から全科履修生へ入学する場合は、一般の募集要項にて出願してください。
- 再試験のためだけに継続入学されたい場合は、出願票裏面の科目登録欄は空白にし、「再試験のための出願である」の欄に○を記入し、提出してください。入学料のみで、再試験科目の授業料は無料です。

③今学期末に卒業見込みの方

成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

成績判定前に次学期に向けての手続きをされたい方は、事務室へご相談ください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、次学期も学籍がある場合。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、次学期に学籍がない場合。
	今学期末で卒業される方で、引き続き放送大学で学習を続けたい場合。

④しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。
連続して3学期間、科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

継続入学生が学期当初から面接授業の登録申請をする場合・・・

教養学部(全科履修生・選科履修生・科目履修生)への継続入学生で、学期当初から面接授業の登録申請を希望される方は、**科目登録申請期間中(8月15日(火)～8月31日(木))にシステム WAKABA から出願を行う必要があります。**

- 学期当初からの面接授業の科目登録申請は、郵送での受付はありません。
- 科目登録申請期間外に継続入学申請を行った場合、面接授業の科目登録申請はできません。
- 出願時には、1科目以上放送授業又はオンライン授業を登録する必要があります。面接授業の登録のみでは出願できません。

※インターネットからの手続きは、期間中にメンテナンス等により一時システムが中止する可能性があること、期間最終日にはアクセスが集中することが予想されますので、手続きはお早めをお願いします。
また、学習センターのパソコンを使用し、手続きをされる場合は、事前に閉所日等を確認してください。

●○次学期の面接授業教科書・持参物等について○●

次表の面接授業科目は、教科書又は持参物等が指定されております。受講を希望される方は、授業当日までに用意し、必ず持参してください。事務室での貸出しは行いません。

面接授業についての詳細(日程、授業概要、注意事項等)は、放送大学ホームページ又は放送大学本部より発送される平成29年度第2学期面接授業時間割表(中国・四国ブロック版)冊子を確認してください(ホームページへの面接授業概要(シラバス)の公開及び冊子の発送は7月中旬を予定)。

●教科書が指定されている科目

	科目名	教科書名	申込期日
福山サテライト スペース	連分数入門	連分数のふしぎ 木村俊一/講談社/¥1,188 ISBN=9784062577700	10月24日(火)

※事務室に申し込まれた場合は、授業開講日の約1週間前から、代金引換でお渡しする予定です。
早めに入手されたい方は、各自で購入してください。注文後のキャンセル・返品はできません。

●持参物が指定されている科目

	科目名	持参物
広島学習 センター	マイクロソフトオフィス入門	USB メモリ
	会話で始める初級フランス語	仏和辞典、和仏辞典(電子辞書も可)
	心理学実験1	USB メモリ
	心理学実験2	USB メモリ
福山サテライト スペース	連分数入門	電卓(市販されている一番安価な物で結構です)
	認知症の作業療法	サインペンなど、ボールペンよりも太い文字が書ける筆記具(油性ペンは不可)
	心理学実験3	ノート、USBメモリ(数十MBの空き容量があれば十分)、√(ルート)が使える電卓
	生物生産と海洋環境	関数電卓(スマートフォンアプリでも可能)、HBの鉛筆

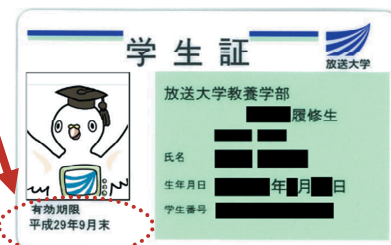
●○次学期の学生証の交付について○●

9月末で学生証の有効期限が切れる方、次学期に再入学・継続入学される方の学生証は、**10月3日(火)**から交付できます。

次学期も引き続き学籍のある全科履修生の方は、学生証の有効期限を確認してください。有効期限が切れている方は旧学生証を事務室窓口まで持参してください。

再入学・継続入学される方は「入学許可書」(お持ちであれば旧学生証も)を持参してください。

なお、学生証の写真を新しくされたい方は、更新の1カ月前に「写真票」を大学本部学生課に提出するか、システム WAKABA の「学生カルテ」から変更を行ってください。登録方法等、詳しくは学生生活の葉(教養学部:P18~/大学院:P24~/)を参照してください。



●○『放送大学に学んで』が出版されました○●

中国・四国地域の放送大学卒業生による「体験記」

『放送大学に学んで・未来を拓く学びの軌跡・』が出版されました。

放送大学は万人に解放された生涯学習機関として 30 年以上の歴史をもちます。この間、多くの人々がさまざまな目的をもって放送大学で学びました。沢山の苦勞を乗り越えてこの「目的」を達成した喜びがこの「体験記」にあふれています。特に、中国・四国地域で現在学ぶ後輩への力強いエールとなっています。是非読んでみてください。(広島学習センター所長 山田 隆)



視聴学習・図書室からのお知らせ

◆◇図書・資料の室外貸出停止期間について◆◇

7月7日(金)～7月30日(日)まで、視聴学習・図書室の図書・資料の貸出停止期間です(放送教材は通常通り貸出します)。貸出中の図書・資料は**7月6日(木)**までに返却してください。

◆◇視聴学習・図書室の臨時閉館について◆◇

次学期準備のため、視聴学習・図書室を**9月24日(日)～30日(土)**の期間、閉館します。貸出中の放送教材、図書・資料は、**9月22日(金)**までに返却してください。福山サテライトスペース視聴学習室・図書コーナーは、上記期間も開館しています。

◆◇放送教材の室外貸出について◆◇

単位認定試験終了から学期末まで、すべての科目の放送教材を室外貸出します(著作権の関係上、一部貸出しできない教材もあります)。次学期に履修する科目選択にお役立てください。

なお、学期開始から単位認定試験終了までは、室外貸出できる放送教材は、科目登録をしている科目のみとなりますので、ご注意ください。

◆◇庄原教室での放送教材の視聴・貸出について◆◇

庄原教室(庄原市民会館:庄原市西本町二丁目17-15)においても、放送教材の視聴・貸出ができます。現在、庄原教室には、61科目の放送教材を配架していますが、このほかの科目を履修しようとする学生は、次学期の登録科目名を**9月6日(水)**までに広島学習センター(☎082-247-4030)へ連絡してください。

◆◇広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について◆◇

平成 27 年度 4 月～3 月に広島学習センター視聴学習・図書室へ配架していた雑誌のバックナンバーを無料配布いたします。引き取りをご希望の方は、先着順でお持ちください。

なお、雑誌の予約申込や配送は受け付けておりません(配送は着払いも不可)。

◆配布期間：10 月 1 日(日)～10 月 31 日(火) (なくなり次第終了)

◆場 所：広島学習センター視聴学習・図書室

❖雑誌一覧❖

科学／家計経済研究／教育学研究／教育社会学研究／経済セミナー／公衆衛生情報／こころの科学／史学雑誌／思想／情報処理／食生活／数理科学／天文月報／都市問題／ニュートン／月刊福祉／文学／文化人類学／文藝春秋／法学セミナー／臨床心理学／Interface／National Geographic／WIRED

行事のお知らせ

卒業研究ガイダンス参加者募集

平成 30 年度卒業研究履修予定者向けの卒業研究ガイダンスを下記のとおり開催します。卒業研究を履修される方、履修を検討されている方は是非ご参加ください。

■日 時：7 月 2 日(日)14：00～15：30

■場 所：広島学習センター中講義室(4 階)

■内 容：放送大学本部教職員による履修指導及び申請方法の説明等

■説明者：本部教員 川原准教授、
本部学生課卒業判定係 豊島係長

■申込先：広島学習センター事務局

※終了後、広島学習センター教員による相談会を行う予定です。(自由参加)

納涼会のご案内

学生相互及び教職員との親睦を目的に、納涼会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。お一人でもお気軽にご参加ください。

■日 時：8 月 4 日(金)18：00～

■場 所：福屋広島駅前店屋上 パノラマビアガーデン(広島市南区松原町 9-1)

■参加費：男性 3,000 円 女性 2,800 円
※当日にお支払いください。

■申込締切：7 月 30 日(日)

■申込先：広島学習センター事務局



平成 29 年度第 2 学期入学生募集 大学説明会・入学相談会のご案内

広島学習センター

●大学説明会日時

7 月 9 日(日)13:30～

8 月 6 日(日)13:30～

9 月 3 日(日)13:30～

●場所・お問い合わせ先

広島学習センター

☎082-247-4030

福山サテライトスペース

●大学説明会日時

7 月 9 日(日)13:30～

8 月 6 日(日)13:30～

9 月 3 日(日)13:30～

●場所・お問い合わせ先

福山サテライトスペース

☎084-991-2011

庄原教室

●大学説明会日時

7 月 8 日(土)13:30～

8 月 5 日(土)13:30～

9 月 2 日(土)13:30～

●場所・お問い合わせ先

庄原教室(庄原市民会館内)

☎082-247-4030

入学相談会は随時実施中！！

広島学習センター及び福山サテライトスペース開所日に随時実施しますので、ご都合の良い時に来所してください。

なお、月曜日、祝日、単位認定試験期間(7/21(金)～30(日))、8/1(火)及び 8/12(土)～15(火)は除きます。また、庄原教室では実施していません。

生涯学習に興味をお持ちのご友人や職場の方に、是非、放送大学をご紹介します。資料請求(無料)は広島学習センターまでどうぞ！

広島学習センター公開講演会～所長就任記念講演～

- 日 時：8月27日（日） ①13時30分～15時00分 ②15時15分～16時45分
- 場 所：広島学習センター大講義室（3階）
- 定 員：先着100名（要予約）※一般の方も参加できます。
- 講 師：①山田 隆（広島学習センター所長）
②加藤 寛二（医療法人社団健歯会理事長）
- 演 題：①「微生物の世界」
②「風に立つライオン現代健康学（健康寿命100才を目指して）」
- 申込先：広島学習センター事務局

研修旅行のご案内

“省エネ できることから始めよう！”、“リサイクル できることから始めよう！”ということで、今年の研修旅行は、“工場見学に行こう！”を計画しました。我が街の新聞印刷工場と西部リサイクルプラザで、新聞ができるまでと、分別収集した資源ごみを細選別し再資源化するまでの智慧と苦労を見学します。

- 日 時：10月13日（金） 福山 SS:8時00分出発、 広島 SC:9時40分出発
- 場 所：中国新聞広島制作センター（廿日市）、西部リサイクルプラザ（広島市）
- 募集人員：35名（先着順に受付けます。なお、定員に達し次第締め切ります。）
- 参加費：1,300円（昼食代・保険料・雑費等）
- その他：前日までに学生教育研究災害傷害保険に加入してください。
- 行 程：福山 SS:8時00分出発 → 広島 SC:9時40分出発 → 西部リサイクルプラザ
→ 昼食（サンプラザ） → ちゅーピーパーク（中国新聞広島制作センター）
→ 広島 SC:16時00分頃 → 福山 SS:17時40分頃帰着
- 申込締切：9月29日（金）
- 申込先・集合場所：広島学習センター又は福山サテライトスペース

放送大学広島同窓会主催行事のお知らせ

“研究発表会”のご案内

- 日 時：9月3日（日）14:00～16:00
- 場 所：広島学習センター 4階 小講義室
- 対 象：同窓会員、卒業生、在学生
- 申込締切：8月27日（日）
- 申込先：広島学習センター事務局

“山田所長を囲んでの座談会”のご案内

- 日 時：10月15日（日）14:00～16:00
- 場 所：広島学習センター 4階 多目的室
- テーマ：『未定』
- 対 象：同窓会員、卒業生、在学生
- 申込締切：10月8日（日）
- 申込先：広島学習センター事務局

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461
MAIL▶hiroshima-sc@ouj.ac.jp
HP▶http://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)
TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

卒業・修了おめでとうございます



【平成28年度第2学期卒業生・修了生数】

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
人間の探求専攻	0	1
生活と福祉コース	18	3
心理と教育コース	21	5
社会と産業コース	7	0
人間と文化コース	7	0
自然と環境コース	4	1
情報コース	4	0
生活健康科学プログラム	1	0
人間発達科学プログラム	0	1
臨床心理学プログラム	0	0
社会経営科学プログラム	0	1
人文学プログラム	4	1
情報学プログラム	1	0
合計	67	13

4月2日(日)に、
平成28年度第2学期
学位記授与式を行いました。

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々
のご活躍を祈念しております。

目次

卒業・修了おめでとうございます……………	1	卒業生・修了生代表挨拶……………	3
学位記授与式客員教員祝辞……………	2	卒業生からのメッセージ……………	4

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授 澤田 英三

僭越ではございますが、客員教員を代表して、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。放送大学という生涯学習の聖地で、仕事や家事、育児をされながら、あるいは第二の人生の目標として、改めて大学で学問を修めることを選択されて学び続けた成果が、先ほど受け取られた学位記に記されています。皆様のご努力に改めて敬意を表します。



また目を転じますと、皆様の学びの周辺には、それを支えてくださったご家族や職場の同僚の方々、学友の皆さんや先生方がおられます。皆さんの学びの成果は、これら多くの方々の支援があってこそのものだと実感されていることと思います。あらためて感謝ですね。

今、皆様のお顔を目の前にしたとき、私が広島県豊島で住民の方々と一緒に行った地域研究の報告会で目にした住民の方々の顔を思い出します。今から30年ほど前、有志の方々と地元の研究を始めました。年齢は下は30代から上は60代後半の方々まで10数名。最初は「こんな島のどこがいいのか」と言っておられた方も、研究が進むにつれて「自分の生まれた島のことが誇らしく好きになってきた。これを他の人にも伝えたい」と言われるほどになり、どんどんと活動が活発になっていきました。そして、最後に東京で行われた研究報告会には、メンバーのほとんどが参加してみんなで発表を行いました。みんな、胸を張って発表され、審査の先生方からの質問にも自信をもって受け答えをされていました。その時の住民の方々の誇らし気な表情と、今ここにいらっしゃる皆さんの晴れやかな表情がダブって見えるのです。

何かを成し遂げた時、やり終えた時、私たちはみな達成感を感じるものです。しかし、その中でも、好奇心から出発して、多くのそれに関連する学びを深め、仲間と議論し、それを人に伝えていくという一連の知的活動を行った区切りでは、単に目標をクリアしたという達成感だけではなく、学ぶという活動そのものがもたらしてくれた充実感があります。私たちに心の豊かさをもたらしてくれます。そして、さらなる疑問や未達成感も同時に与えてくれます。学べば学ぶほど、新たな疑問ややり残したことが出てきて、学ぶことがやめられないのが学問の世界なのかもしれません。

みなさま、本日は、誠におめでとうございます。しかし、今日をもって学びの世界から卒業されるわけではありませんよね。学位記を授与されるという一つの区切りを迎えて、皆さんが思いを新たにして、今後も学びを継続され、深めていかれることを、客員教員一同、期待しております。ともに学んでいきましょう。ありがとうございました。

卒業生・修了生代表挨拶

広島学習センター卒業生・修了生代表 鍛冶 由美子(心理と教育コース)



本日は、私たち卒業生のために、心温まる学位記授与式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、山田所長並びに、客員教授の澤田先生より温かいお祝いの言葉や、励ましの言葉をいただき、身に余る光栄と存じます。心より感謝申し上げます。

ここにおられる卒業生の皆様は、一様に感慨深いものをお持ちのことと思います。卒業生を代表いたしましてご挨拶いたします。

私が放送大学の開設を耳にしたのは1985年、速記の仕事をして、子育てに奮闘しているときでした。いつか行けるようにと、夢を胸の

奥に抱いていました。8年半前ようやく入学することがかない、今日晴れて卒業できました。達成感と嬉しさが同時にこみ上げてきます。

優秀な先生方の奥深い研究を15回の放送授業やインターネット授業と、8回の面接授業に凝縮していただいた科目の中で、必要または好きな科目を学べました。私は、イギリス文学の父チャールズの詩を学び、ジョンレノンの生涯を描いた映画等を通して英語を学ぶことができました。また、「太陽系外惑星と宇宙生命の探査」を学ぶ授業では、新しい世界を知ること、胸が高鳴りました。

試験の日は、教室で問題に取り組んでおられる学生全員の熱気が伝わってきて、良い空間をいただいたことで、モチベーションもあがりました。

クラブに入って、仲間と行動を共にできたのも良い財産となりました。仲間の生き方を知り、コミュニケーションの取り方を学びました。

一番自分を変化せしめてくれたのは、卒業研究でした。テーマの選択、文献の読破、広がった視野を一つの方向へ集中し、批判的推論で研究をまとめるという作業です。私は、明治時代前後の教育観を研究しました。先人の後世に繋ぎたいという熱い思いを研究でき、今後の生き方の基盤をいただくことができました。担当の中村先生にお世話になりながら仕上げていく作業は、その過程において、大変さ、楽しさを存分に味わうことができました。先生への感謝の気持ちで一杯です。

そして、両親に感謝の言葉を捧げたいと思います。大学に行けなかったことを、両親のせいにしてた私でしたが、こういう学び方をいただき、道筋が理解できたことを本当にありがたく思っています。

今後、学んだことを少しでも役に立てられるように、健康に注意しながら、夢のステップをまた、一段上がったらと思っております。

最後になりましたが、いろいろな局面で温かくサポートしてくださった前所長の安原先生を始め、客員教員の先生方、また、広島学習センターの職員の皆様方へ心よりお礼申し上げます。そして、この学び舎で学んでおられる皆様方とともに、放送大学の今後ますますの発展を祈念いたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



卒業生からのメッセージ

平成 28 年度第 2 学期卒業生の皆様より、卒業にあたっての思い、在学生、これから学ぼうとする学生へ向けてのメッセージをいただきました。

●生活と福祉コース卒業 谷中 伸也

これから新社会人になる人は、本学で学んだことに加え、ご自分の専門の基礎を習得して下さい。その後に大学院への進学をお勧めします。教養学部では幅広く学習出来る反面、履修方法によっては全日制の大学と比較して専門性を高めることが出来なくなります。仕事で成果を出しながら勉学・研究の両立は大変だと思いますが、幅（関連領域と教養）と軸（専門性）を併せ持つ社会人になれるように共に頑張っていきましょう。

●生活と福祉コース卒業 山本 寛

放送大学の「人間と文化」コースを 2 年前に終え、次のコース「生活と福祉」を卒業することができました。これからの自分自身と、家族のことなどを考えて、このコースを選び勉強しましたが、でき得れば、地域の人達とのあいだでも役立てたらと思っております。こうして卒業できますことは、諸先生方、ならびに、親切に対応していただいた広島学習センターの方々、先輩をはじめお世話になった皆様のお陰だと、心より感謝いたしております。引き続き、次のコース「社会と産業」を継続して頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

●心理と教育コース卒業 石本 やえみ

臨床心理に興味を持ち、大学を卒業したいと思った私は、52 歳で看護師でした。3 年次編入で入学しました。①半期毎に 8 教科取得し 2 年間で卒業②認定心理士③心理学基礎・臨床心理学基礎のエキスパート④看護学の学士取得の目標をたてました。心理学の科目を重点的に看護の科目も履修しました。興味があった面接授業は、福山、岡山、鳥取、松山、高松、徳島に行き受講しました。主人とちょっとした旅行も兼ねることができ、有意義な 2 年間ででした。

●心理と教育コース卒業 鍛冶 由美子

放送大学が開局したと聞いた 1985 年、私は 10 歳と 7 歳の息子たちを育てながら、速記の仕事をしていました。大学への道は遠く、8 年半前ようやく入学できました。そして、たくさんのことを学ばせていただきました。

この度晴れて学位記を手にする事ができ、万感の思いです。大学での勉強が、少しでも生活に潤いをもたらすよう、夢を持って臨むことを今後の課題としたいと思います。お世話になった先生方、学生仲間（年齢の幅があっても交流できるのがいい）、家族の励ましに感謝申し上げます。

●人間と文化コース卒業 平田 幸男

前回（自然と環境）2011 年 3 月卒業した後、同窓会の手伝いを始めたのがきっかけで、2014 年に（人間と文化）に再入学して今回卒業できました。同窓会の活動を通じてできた仲間の勧めもあり、卒業研究に挑戦し 2 年間大変でしたが、担当教授の指導を受けて何とか期限内に提出できました。面接審査が終わった時は、思わず涙がでる程感激しました。本当はここで止めようと思っていましたが、立ち止まったら終わりと思い今度は情報に再入学して、出来ることまでがんばります。

●自然と環境コース卒業 上野 節子

通院生活の傍ら活力ある生活へと変革を求め、放送大学で学ぶ道を選択しました。教材や面接授業、公開講座で学ぶうち、けじめとして卒業研究する事を決めました。野外調査や実験を行い、多くの困難に直面しましたが、これらを乗り越え、最後まで頑張れたのは、上杉鷹山の「為せば成る・・・成らぬは人の為さぬなりけり」の言葉に勇気づけられたからでした。不十分ながら、一つのことをやり遂げたという達成感がありました。

●自然と環境コース卒業 渡 輝昭

平成 25 年入学以来、はや 4 年、真に光陰矢の如しです。私は、自然と環境コースを専攻し、宇宙、地球、そして大自然等を学び進む程に、目から鱗が落ちるような驚きの連続でした。

学問を木に例えれば、沢山の失敗は根っこであり、失敗が多い程、自己の知見の枝の広がりを実感しています。老若男女学問を通じ、お互い切磋琢磨できる喜びの道を、今後もマイペースで歩み続けたく思っております。